



関数 VLOOKUP

(C)TERAKOYA 2014

[1] 表引き

表の中から《目的のデータを探し出し》《そのデータを別の箇所に記す》
ことを **表引き** ひょうび といいます。

ここで、「行先」と「荷物のサイズ」によって料金が決まる宅配便の運賃
計算表について見ていきましょう。

発送地	行先記号	サイズ番号	金額
北海道			

宅配便運賃計算表

行先	行先記号	1 60サイズ	2 80サイズ	3 100サイズ	4 120サイズ	5 140サイズ	6 160サイズ
沖縄	A	1,850	2,370	2,880	3,400	3,910	4,430
九州	B	1,750	1,960	2,160	2,370	2,580	2,780
四国	C	1,650	1,850	2,060	2,270	2,470	2,680
中国	D	1,550	1,750	1,960	2,160	2,370	2,580
関西	E	1,440	1,650	1,850	2,060	2,270	2,470
北陸	F	1,240	1,440	1,650	1,850	2,060	2,270
中部	G	1,240	1,440	1,650	1,850	2,060	2,270
信越	H	1,130	1,340	1,550	1,750	1,960	2,160
関東	I	1,130	1,340	1,550	1,750	1,960	2,160
南東北	J	1,030	1,240	1,440	1,650	1,850	2,060
北東北	K	930	1,130	1,340	1,550	1,750	1,960
北海道	L	720	930	1,130	1,340	1,550	1,750

[練習] 上の表を利用して、宅配便の運賃を求めましょう。

①行先が「九州」で、荷物が「120 サイズ」の金額はいくらですか。

②行先が「関東」で、荷物が「160 サイズ」の金額はいくらですか

③「沖縄」に 3000 円以内で送れる、最大のサイズを求めましょう。

[2] 参照表

表の中から《目的のデータを探し出し》《そのデータを別の箇所に記す》
ことを表引きひょうびといいます。

このとき、データを探し出すための表を参照表さんしょうひょうと呼びます。

下図で、コード「SY3208」を、商品価格表のコード欄から調べます。

※ここでは、商品価格表が参照表になります。

- ①このとき目線は、1列目を縦に動いていきます。
- ②コード「SY3208」を見つけます。
- ③目線を2列目に動かして商品名の「エアコン」を見つけます。

売上日	コード	商品名	受注数	単価
8/1	SY3208	エアコン	10	
8/1	MY0256		15	
8/2	KA0288		5	
8/2	SR6389		3	
8/2	KA0288		2	
8/2	YM8204		12	
8/3	MY0256		18	
8/3	YM8204		11	
8/3	SR6389		6	
8/3	YM8204		8	
8/4	MY0256		16	
8/4	RS0598		7	
8/4	SY3208		12	
8/4	KA0288		5	

コード	商品名	単価
KA0288	プラズマテレビ	328,500
MY0256	パソコン	244,800
RS0598	冷蔵庫	124,950
SR6389	洗濯機	94,800
WR2007	オーブンレンジ	27,909
SY3208	エアコン	49,500
YM8204	DVDプレーヤー	52,600

[3] 関数 VLOOKUP

関数 VLOOKUP [ヴィ・ルックアップ] は、

コードや商品番号などを

参照表の《1列目を》《縦に》検索して、

参照表にある商品名などを表引きするための関数です。

=VLOOKUP (検索値、範囲、列番号、検索方法)

- ◇**検索値**..... データ「SY3208」のセル番地
- ◇**範囲**..... 商品価格表 **※項目名は含めない**
- ◇**列番号**..... 2 [左から 2 列目のデータを表示する]
- ◇**検索方法** 0 ※次ページで解説します

売上日	コード	商品名	受注数	単価
8/1	SY3208	エアコン	10	
8/1	MY0256		15	
8/2	KA0288		5	
8/2	SR6389		3	
8/2	KA0288		2	
8/2	YM8204		12	
8/3	MY0256		18	
8/3	YM8204		11	
8/3	SR6389		6	
8/3	YM8204		8	
8/4	MY0256		16	
8/4	RS0598		7	
8/4	SY3208		12	
8/4	KA0288		5	

コード	商品名	単価
KA0288	プラズマテレビ	328,500
MY0256	パソコン	244,800
RS0598	冷蔵庫	124,950
SR6389	洗濯機	94,800
WR2007	オーブンレンジ	27,909
SY3208	エアコン	49,500
YM8204	DVDプレーヤー	52,600

「コード」が1列目になるように、
範囲を選択します。

[4] 検索方法

=VLOOKUP (検索値、範囲、列番号、**検索方法**)

VLOOKUP 関数の検索方法は 2 通りあります。

(ア) 検索値と完全に一致するものだけを検索する

(イ) 検索値の近似値を含めて検索する

フォールス

(ア) **FALSE** (または 0)

- ・ 検索値と完全に一致するものだけを検索する
- ・ 参照する表のデータを昇順にする必要はない

トゥルー

(イ) **TRUE** (または 1、または**省略**)

- ・ 検索値の近似値きんじちを含めて検索する
- ・ 《検索値未満で、最大の値》を検索する
- ・ 参照する表の 1 列目のデータを**昇順で並べかえておく**

購入金額	商品券	
0	0	10 万円未満
100,000	5,000	10 万円以上 20 万円未満
200,000	10,000	20 万円以上 30 万円未満
300,000	15,000	30 万円以上 50 万円未満
500,000	25,000	50 万円以上

[練習] 上の表を利用して、商品券の金額を求めましょう。

- ①購入金額が 385,000 円の時、商品券はいくらになりますか。
- ②購入金額が 128,000 円の時、商品券はいくらになりますか。
- ③購入金額が 70,000 円の時、商品券はいくらになりますか。
- ④購入金額が 200,000 円の時、商品券はいくらになりますか。

[5] 関数 HLOOKUP

関数 HLOOKUP [エイチ・ルックアップ] は、
コードや商品番号などを
参照表の《1行目を》《横に》検索して、
該当した列の指定行のデータを表引きする関数です。

=HLOOKUP (検索値、範囲、行番号、検索方法)

- ◇検索値..... データ「B」のセル番地
- ◇範囲..... 勤務時間表 ※項目名を含めない
- ◇行番号..... 4 ※上から4行目
- ◇検索方法..... 0 ※完全に一致するものを検索

[勤務時間表]

シフト	A	B	C	D	休み
入社時刻	10:00	10:00	13:00	15:00	-
退社時刻	18:00	15:00	20:00	20:00	-
勤務時間	7	4	7.5	6	0

[練習] 上の表を利用して、各問いに答えましょう。

- ①シフトが D のときの勤務時間を求めましょう。 行番号：__
- ②シフトが A のときの入社時刻を求めましょう。 行番号：__
- ③シフトが C のときの退社時刻を求めましょう。 行番号：__

[6] IF 中の IF

IF の中に IF を使うことで、
条件を 3 つ以上に枝分れさせることができます。

= IF (C3>=90, "優秀", IF(C3>=60, "合格", "不合格"))
論理式 真の場合 偽の場合

90 以上なら「優秀」、そうでない場合、
60 以上なら「合格」、そうでない場合は「不合格」

[練習] 次の文章の内容を『関数の式』で表しましょう。

- ① D3 が 100 以上なら「A」、
そうでない場合、D3 が 80 以上なら「B」、
そうでない場合は「C」と表示する。

- ② C4 に何も入力されていなければ、何も表示しない、
そうでない場合、C4 が G4 と等しければ「正解」、
そうでない場合は何も表示しない。

[7] 空白セルの参照

今日の気温を入力すると、[売れ筋商品一覧表]を参照して売れ筋商品が表示されるように VLOOKUP 関数の式を入力すると、エラー値「#N/A」が表示されます。※この時点では、今日の気温は未入力です。

今日の売れ筋		売れ筋商品一覧表	
今日の気温(°C)	セル番地 C7	気温(°C)	商品
売れ筋商品	#N/A	18	おでん材料
		19	半袖シャツ
		20	エアコン
		21	Poloシャツ
		22	ビール
		23	浴衣
		24	水着
		25	清涼飲料
		26	殺虫剤
		27	スイカ
		28	蒲焼き
		29	パラソル
		30	かき氷

エラー値「#N/A」を回避するために、関数 IF を使って、次のような式を入力します。この方法を「空白セルの参照」と呼びます。

`=IF(C7="", "", VLOOKUP(` `)`